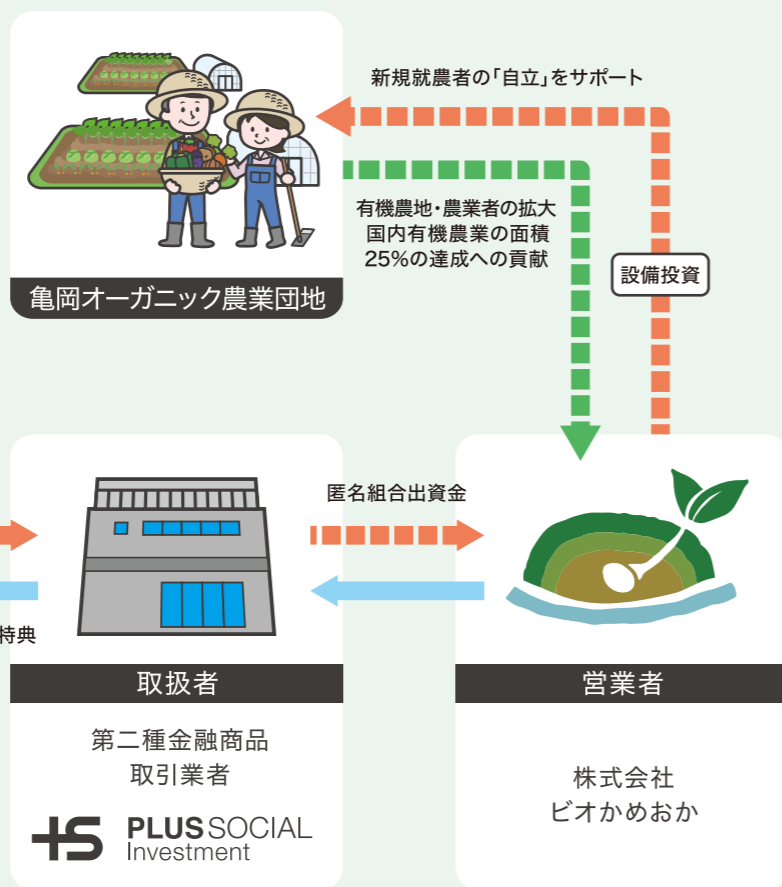


バイオかめおか 亀岡オーガニック農業団地応援ファンド 資金の仕組み

2025年にスタートする「亀岡オーガニック農業団地」は、有機農業での就農を望む方の受け皿として、「農地や設備の提供、伴走指導、販路確保」といった就農に必要な支援を一元的に行います。有機農地や農業者が拡大することで、亀岡市における「オーガニックビレッジ宣言」の目標達成に貢献、大規模流通の対応も可能にすることから、国内有機農業に新たな価値を生み出します。



ファンドの詳細は、インターネットでご覧いただけます。

<https://www.en-try.jp>

バイオかめおか 亀岡オーガニック農業団地 検索



「エントライ」は、一つひとつのプロジェクトを「投資」、「購入」、「寄付」によりふるさとを応援できるクラウドファンディングサイトです。

お問い合わせ



PLUS SOCIAL Investment

プラスソーシャルインベストメント株式会社
☎ 075-257-7814 ✉ customer@en-try.jp

※お電話の場合は、お申込み方法や会員登録について対応が可能です。オペレーターにつながりますので、電話番号をお伝えください。担当より折り返しご連絡いたします。

本プロジェクトには、出資金の元本が割れる等のリスクや、契約期間中の解約・譲渡はできない等の留意点がありますので、匿名組合契約説明書（契約締結前交付書面）をよくお読みの上、お申込みください。本プロジェクトの募集の取り扱い、プラスソーシャルインベストメント株式会社（PSI社）（第二種金融商品取引業者：近畿財務局長（金商）第396号、加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会）に委託されているため、申込手続はPSI社が運営するWEBサイト「エントライ」にて行っていただく必要があります。

投資型クラウドファンディング

このプロジェクトは投資で応援することが可能です。対象事業の売上金額に応じて分配金を受け取れます。（元本を保証するものではありません）。また出資回数に応じて投資家特典を受け取れます。

◀ 応援いただける出資者を募集します ▶

～ 亀岡オーガニック農業スクールから「農家」になる道を拓く～

バイオかめおか 亀岡オーガニック農業団地応援ファンド

募集期間 | 2024年12月20日(金)～2025年2月28日(金)



亀岡オーガニック農業団地とは？

京都府亀岡市において、就農を希望する方に農地・農業機械・ハウスの提供から、伴走指導・販路確保といったサポートまで一元的に提供する新たな拠点です。「有機農業をしたい！」を学びから自立まで支えます。

投資家特典

- 季節の有機野菜詰め合わせ
- スクール オンラインコース 1回体験授業や割引券

など4種類をご用意しています。

＼投資で応援ってどうするの？ もっと事業を知りたい！

出資説明会を開催します

ファンド & 出資説明会の詳細はこちら

1 2024年12月27日(金) 19時-20時
オンライン開催
オンライン会議システムZoom

2 2025年1月19日(日) 14時-15時
サンガスタジアム会議室E-1 & オンライン開催
オンライン会議システムZoom

※後日、アーカイブ動画（録画）の配信も行います

「エントライ」で検索またはQRコードからご確認ください。説明会の情報も掲載しています。





PROJECT

投資型クラウドファンディング - 社会的投資ファンド -

ビオかめおか 亀岡オーガニック農業団地応援ファンド

農林水産省は2021年、「みどりの食料システム戦略」において、国内の有機農業面積を2050年までに0.5%から25%に拡大する目標を掲げました。また、新規就農を望む方の中でも有機農業を志向する層がでてきています。

しかし、就農から3~5年で離農してしまう方が多く、有機農家が広がりづらい現状にあります。その根本原因には、有機農業に関する情報へのアクセスの難しさ、農地や設備選定に必要な知識の不足、栽培技術の向上と販路開拓等の経営を同時進行する難しさなどが挙げられます。

株式会社ビオかめおかは、2023年に亀岡オーガニック農業スクールを開校し、有機農業の技術と経営を「学ぶ」機会を提供してきました。そして2025年、新規就農者に農地や設備の提供、伴走指導、販路確保で一元的な支援を行う「亀岡オーガニック農業団地」を開始します。本団地から、有機農業を志す新規就農者が栽培に専念できる環境をととのえ、有機農業の更なる普及に挑みます。

本ファンドでは、設備投資費の一部の費用を投資で応援いただき、生産から消費に関わるあらゆる方と共に、持続可能な農業の実現をめざします。



出資者募集情報

本匿名組合契約名称 ビオかめおか 亀岡オーガニック農業団地応援ファンド

営業者 株式会社ビオかめおか

出資金募集最大総額 6,200,000円(310口) 申込上限口数 50口
1口金額 20,000円/口
(出資金:20,000円 取扱手数料:0円)

資金使途 亀岡オーガニック農業団地事業にかかる設備投資費用

募集受付期間 2024年12月20日~2025年2月28日
※この期間中であっても、出資金額が出資金募集最大総額に達した場合は、そのときをもちまして出資の募集を終了します。

会計期間 2025年3月1日~2030年2月28日

目標償還率 110.16%

事業計画売上金額 5年間で233,590,909円の累計売上金額を目標とし、達成時には償還率110.16%(源泉徴収後償還率108.09%)になります。出資金額に対する損益分岐となる売上金額は115,671,642円になります。本事業計画は売上金額及び分配金額を保証するものではなく、元本が毀損するリスクがあります。

投資家特典

3口以上のご出資から口数に応じて、以下特典を送付いたします。
※1出資者につき1つの投資家特典のみ選択可能です。

3口(60,000円)~ 2,500円相当(税込・送料込)

季節の有機野菜詰め合わせ



3口(60,000円)~ 10,000円相当(税込・送料込)

本ファンド限定!
スクール オンラインコース
1回体験授業



5口(100,000円)~ 20,000円相当(税込・送料込)

割引率10%以上!
スクール オンラインコース
割引券



50口(1,000,000円) 特典を自由にカスタマイズ

ご出資に関する広報発信

+
無料交流チケット1回

例) プレスリリースの発信+社員向け現地研修会を無料で1回開催



SOCIAL IMPACT

本ファンドのここが社会貢献につながる

亀岡オーガニック農業団地の仕組みとソーシャルインパクト

学びのステージ

亀岡オーガニック農業スクール

家庭菜園からプロ生産者をめざす方まで幅広いコースを提供します。

データ活用型有機栽培に基づき、勘や経験則に頼らない有機農業の栽培技術から農業経営論にいたるまで、一連の知識を共有します。



自立のステージ

亀岡オーガニック農業団地

新規就農に必要なハード・ソフトな資源を一元的に提供します。



個々のニーズに適した仕様で提供
栽培を委託



ソーシャルインパクト

有機農業者の増加

有機農業における知識、設備投資、販路確保といった課題を克服し、ながく農業を続けられる環境を提供します。

農地の確保による オーガニックの安定供給

亀岡市内でまとまった農地を確保でき、またビオかめおかが農産物の一括管理を行うことで、大規模流通にも対応します。

持続的な農業から 持続的な食卓をつくる

化学肥料や農業を減らし、国産で輸入の必要なく流通時の環境負荷が少ない有機野菜を届けることができます。



亀岡市「オーガニックビレッジ宣言」に基づく有機農業推進実施計画の達成に貢献します

亀岡市は2023年2月、有機農業の推進に向けて「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。本ファンドは、有機農業推進実施計画に定められているKPI(2027年度までに有機農業に取り組む農業者数を20人にする等)の達成に貢献します。

オーガニックビレッジとは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のことで。亀岡市は全国2番目の早さでオーガニックビレッジ宣言を行いました。

ファンドにかける想い

株式会社ビオかめおか 代表取締役 中村新



全国に先駆けてオーガニックビレッジ宣言を行った亀岡市は有機農業者の育成を進めています。そのなかで、有機農業の支援活動を行うために設立された「株式会社ビオかめおか」は、亀岡市有機農業推進協議会からの委託を受けて、有機野菜生産と有機農業の生産技術開発を長年行っている株式会社オーガニック nico と協力し、有機農業に特化して学べる「亀岡オーガニック農業スクール」を2024年2月に開校しました。約40名の生徒さんが入学し、第1期がまもなく終わるところです。このスクールにおいては、プロ農家をめざすコースもあり、実践的な知識と実習を伴うカリキュラムを特徴としています。

一方、スクールで学んだあとに実際に就農するためには4つのハードル(農地、設備、売り先、住居)があります。そのなかで「株式会社ビオかめおか」では、スクールの卒業生に、農地、設備、売り先を提供することで新規就農の伴走支援を行う「亀岡オーガニック農業団地」を進めようとしています。全国の農業スクールでも例を見ない取り組みです。

出資金で設備投資を行い、新規就農者をサポートできる仕組みを構築したいと思います。本仕組みが、亀岡市が名実ともにオーガニックの町になる一助となり、さらに全国に広がることでオーガニックが普及することを願っています。

応援メッセージ

亀岡市長 桂川孝裕



亀岡市は、「世界に誇れる環境先進都市」をめざし、様々な取り組みを進めています。使い捨てプラスチックの問題については、2021年から市内のプラスチック製レジ袋の提供禁止を全国で初めて実施するなど、日本のみならず世界から注目を集めています。

また、本市は京都府内でも有数の優良農地を有することから、農業分野における環境負荷低減を進めるため、現在、市をあげてオーガニック農業の推進に取り組んでいます。

令和5年2月に全国で2番目となる「オーガニックビレッジ宣言」を行い、学校給食へのオーガニック農産物の導入拡大やビオかめおかとも連携し、亀岡オーガニック農業スクールの開校によるオーガニック農業者の育成などを進めてまいりました。この事業は、オーガニック農業スクールの卒業生をはじめとする、新規就農者が直面する販路や初期投資などの課題をサポートし、亀岡オーガニック農業団地を形成することで、オーガニック農業を地域や社会全体で支え合う仕組みをつくるものであり、本市としても、しっかりと応援をしていきたいと考えています。

このプロジェクトが、オーガニック農業の推進に寄与し、農業を通じたまちづくりに大きく貢献いただけることを期待しています。